

システム状態レポート

初版:2018年7月10日

システム状態レポート アプリケーションを使用すると、Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバのシステム状態データを簡単に取得およびエクスポートできます。この情報は、システムで発生した問題のトラブルシューティングに役立てるために、遠隔地のサポート エンジニアに送信します。

システム状態レポートに関する情報

図 1(101 ページ)は、システム状態レポート画面を示しています。

図 1 システム状態レポート画面



表 1(101 ページ)は、システム状態レポート画面で提供されるオプションの説明です。

表 1 システム状態レポート画面の説明

カテゴリ	説明
Report Destination	<p>レポートをダウンロードするかブラウザ ウィンドウで表示するかを選択できます。[Download report] をオンにすると、システム状態レポートの準備ができた時点でブラウザから結果のレポートがダウンロードされます。このファイルをコンピュータに保存したり、内容を表示したり、サポート担当者に電子メールで送信したりできます。</p> <p>[View in browser] をオンにすると、提供されるリンクを通じて結果のレポートをすぐにオンラインで表示できます。</p>

表 1 システム状態レポート画面の説明(続き)

カテゴリ	説明
Level	<p>レポートに必要な詳細レベルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [Basic First Level]: システム状態の詳細情報を提供します。たとえば、ハードウェア、オペレーティングシステム、データベース、Java VM、および SV アプリケーションについて、設定と現在のパフォーマンスに関する情報などを提供します。 ■ [Java Heap Dump]: 選択した Java 仮想マシン (JVM) の内部アクティビティを示すレポートを表示します。レポートを実行する前に、プロセス ID、JVM の名前、JVM のコマンドラインを示す選択画面が表示されます。ヒープ ダンプを取得するいずれかの JVM を選択し、[Get Heap Dump] をクリックします。ヒープ ダンプレポートが生成されます。 ヒープ ダンプの取得には注意が必要です。実行中にシステムのパフォーマンスが影響を受けることがあります。 ■ [Full SVD Logs]: システム ログ ファイルのリストを表示します。サーバから取得してローカル ドライブにコピーするか、シスコ サポートに送信できます。[View in Browser] を選択した場合は、ログがオンラインでも表示されます。
Previous Reports	<p>収集されたシステム状態レポートの最近のエクスポートを最大 15 件一覧表示します。レポートは、この要求ページにアクセスしているユーザから、またはシステムのスケジュール設定済みタスクから収集されます。</p> <p>いずれかのリンクを選択して、ローカル ドライブにダウンロードするか、シスコ サポートに電子メールで送信します。</p>

システム状態レポートの実行方法

ここでは、次の作業について説明します。

- システム状態レポートの手動実行 (102 ページ)
- システム状態レポートのスケジュール設定 (103 ページ)
- レポートの表示 (103 ページ)

システム状態レポートの手動実行

システム状態レポートを手動で実行する手順は次のとおりです。

1. Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバのメイン メニューで、[Tools] > [System State Report] に移動します。
2. レポート宛先タイプとして [Download report] と [View in browser] のいずれか 1 つまたは両方を選択します。
3. [Level] で、実行するレポートのタイプを選択します。
4. [Get System Status] をクリックします。レポートの生成中はステータス バーが表示されます。

システム状態レポートのスケジュール設定

システム状態データは定期的に抽出できます。[Tools] > [Management Dashboard] に移動します。[Tools] ドロワー > [Advanced] > [Scheduled Tasks] 機能をクリックします。[System State Report] のメイン ページの [Previous Reports] に、生成されたレポートが表示されます。

スケジュール設定済みタスクを作成する手順は次のとおりです。

1. [Tools] > [Management Dashboard] に移動し、[Tools] ドロワー > [Advanced] タブ > [Scheduled Tasks] を選択します。
2. [Add Row] をクリックして行を追加し、タスク タイプを **SystemStateExtractorTask** にします。
3. 必要に応じて、タスクの時間を入力します。
4. [Apply] をクリックします。

[System State Report] のメイン ページの [Previous Reports] に、生成されたレポートが表示されます。

レポートの表示

レポートを手動で実行すると、画面に「Report is ready」と表示されます([図 2 \(103 ページ\)](#) を参照)。

図 2 Report is ready



レポートを実行する前に選択したオプションに応じて、提供されるリンクをクリックしてレポートをブラウザで表示できます。

レポートをダウンロードした場合は、ブラウザとその設定に応じて、レポートをローカル マシンに保存するためのダイアログ ボックスが表示されます。自動ダウンロードが機能しない場合は、語句「Download」の後にあるリンクをクリックして再度ファイルをダウンロードします。レポートは、レポートへの複数のパートを含む圧縮ファイル(.zip)としてダウンロードされます。

注: ヒープ ダンプ レポート タイプは圧縮レポート ファイルであり、ローカルドライブに保存してトラブルシューティング用にサポート担当者に転送できます。このレポートは「Basic Level」レポートと同様にパッケージ化されます。

スケジュール設定済みレポートと以前のレポートの表示

[System State Report] 画面の [Previous Reports] で、スケジュール設定済みレポートを表示します。ファイル名の形式は、レポートが実行された日時です。

スケジュール設定された時刻に実行されたレポートをダウンロードするには、[Previous Reports] でいずれかのタイムスタンプをクリックします。レポートをローカル マシンに保存するダイアログ ボックスを表示することもできます。その場合は、必要に応じて保存します。これは、レポートへの複数のパートを含む圧縮ファイルです。

